保証書

型　　名	No.5710　前後録画ドライブレコーダーミラー　バルーチェ Ⅲ		
保証期間	1 年間	お買上げ年月日	年　月　日
お客様 ご住所	〒 TEL(　　)　　ー		
お客様 お名前	ふりがな 様		
販売店	住所・店名　TEL		

この度は、弊社製品をお求めいただきありがとうございます。本書は本記載内容で無償修理することをお約束するものです。

1. 取扱説明書に従っての正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、商品と本書をご持参ご提示の上お買上げの販売店または弊社にご依頼ください。
2. 二次的に発生する損失の補償および、下記のような場合には、保証対象には含まれません。
   1)使用上の誤り、あるいはメンテナンス等の義務を怠ったために発生した故障および損傷。
   2)不当な改造や修理による故障および損傷。
   3)お買上げ後の移動、落下などによる故障および損傷。
   4)ご使用後のキズ、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷。
   5)消耗が起因とする故障および損傷、または消耗品の交換。
   6)火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災地変、あるいは外部要因による故障および損傷。
   7)本書のご提示がない場合。
   8)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   ●ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   ※なお、保証の要否は、大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承ください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な点がある場合は、お買上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

大橋産業株式会社

〒570-0033　大阪府守口市大宮通 3 丁目 1 番 14 号　TEL06-6996-2631

URL https://www.bal-ohashi.com

アフターサービス

1. 保証書について
   保証書は必ず「お買上げ年月日、お買い上げの販売店名」等の記入をお確かめのうえ、お買い上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買上げ日から1年間です。この保証書は、本製品のみの保証であって、本製品以外の故障、損害、修理等の責任は一切負いません。
2. 修理のご依頼について
   保証期間内は恐れ入りますが、製品に保証書を添えて、お買上げの販売店までご持参ください。保証規定にもとづき修理させていただきます。
3. 補修用性能部品の最低保有期間
   この商品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）保有期間は、製造打切り後 6 年間とさせていただいておりますが、場合により短くなることもあり、代替品での対応をさせていただくことがあります。
4. アフターサービス等について、ご不明な点がございましたら、お買上げの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

商品に関するお問合せは：

0120-076-074

BAL

No.5710

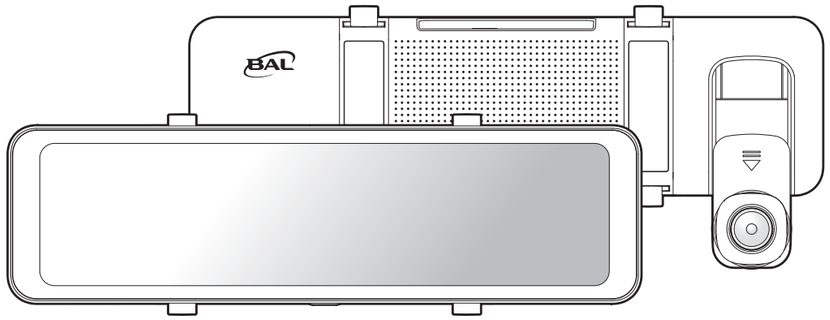
前後録画ドライブレコーダーミラー

BALUCE

バルーチェ Ⅲ

取扱説明書 保証書付

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
・取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
・ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。
・購入時のレシートや販売証明書は捨てずに本書と共に保管してください。



もしも事故が起きたら　事故などが発生したときは、必要な録画ファイルが上書きされないように必ずmicroSDカードを取り出して、破損しないように保管してください。

もくじ

はじめに …… P.1
安全にお使いいただくために …… P.1
　本製品について …… P.1
　使用上のご注意 …… P.2
梱包内容一覧 …… P.3
ドライブレコーダーミラー機能ガイド …… P.3
各部の名称とはたらき …… P.4
microSDカードの取り扱い …… P.5
microSDカードのフォーマットのしかた …… P.7
取り付けかた …… P.8
　取り付けについて …… P.8
　取り付け上のご注意 …… P.9
　ケーブルの引き回しと取り付け位置例 …… P.9
　本体（固定バンド）の取り付け …… P.10
　電源接続コードの取り付け …… P.10
　リヤカメラの配線と取り付け …… P.11
　GPSユニットの取り付け …… P.13
使いかた
　電源ON／OFFについて …… P.13
　液晶モニター表示 …… P.14
　リバースギヤ連動表示 …… P.15
　録画について …… P.16
　　常時録画 …… P.16
　　緊急録画 …… P.17
　　駐車衝撃監視録画 …… P.17
　静止画像を撮影する …… P.18
　設定メニュー画面 …… P.19
　ガイドラインの調整 …… P.20
　リヤカメラズーム機能 …… P.20
　リヤカメラ鏡像 …… P.20
　リヤカメラ画像上下反転 …… P.20
　再生モード …… P.21
　映像の再生 …… P.21
　ファイル名について …… P.22
　ファイルの削除 …… P.23
ファームウェアについて
　ファームウェアをアップデートする …… P.24
故障と処置 …… P.25
　主なエラーメッセージ …… P.27
交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度について …… P.28
PCビューアについて …… P.28
製品仕様 …… P.29
保証について …… P.29
個人情報の利用目的について …… P.29
修理受付票 …… P.30

■はじめに

本書の画面や操作方法例は操作説明用に作成したものです。実際とは異なる画面や、実際にはおこなえない例が記載されていることがあります。最新の取扱説明書やファームウェアのアップデート情報などについては、当社ホームページをご覧ください。

https://www.bal-ohashi.com/products/drive-recorder/no-5710/

■安全にお使いいただくために

ケガや事故を防ぐために必ずお守りください。

絵表示について：
この取扱説明書に示した注意事項は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じると想定される内容を「危険」、「警告」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要なことですのでよく理解し、必ずお守りください。

⚠警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、あるいは物的損傷が発生すると想定される内容を示しています。

■表示について

重要 —— この表示のある記載内容は、ご使用になるうえで非常に重要な内容を示しています。本製品をご使用になる前に必ずお読みください。

⃠ —— この表示のある記載内容は、禁止事項を示しています。

⚠ —— この表示のある記載内容は、注意事項を示しています。

本製品について ⚠警告

- 本製品はDC12V/DC24V車（マイナスアース車）専用です。
- 本製品は車載専用です。他の用途で使用しないでください。
- 本製品は日本国内での使用を目的として設計・製造されています。海外での使用はできません。
- 分解したり修理したりしないでください。火災、感電、ケガの原因となります。
- 走行中に運転者は操作をしないでください。また画像・表示を注視しないでください。走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。操作の際は必ず安全な場所に停止しサイドブレーキをかけた状態でご使用ください。
- 必ず付属品や指定の部品を使用してください。指定以外の部品を使用すると、本体内部が故障したり、固定できずに外れるなど、事故や故障の原因になることがあります。
- 本製品は精密機器です。静電気・電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。
- 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造によって生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品を取り付けたことによる、車両の変色・変形（跡が残る）に関して、弊社は補償いたしかねます。
- 本製品の外観・アイコン・表示名・表示の内容は、実際とは異なったり改良のために予告なしに変更することがあります。
- 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
  ＊ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。
- 本製品が故障したり、発煙や異臭が発生している状態で使用しないでください。そのような状態で使用すると発火などの原因になります。直ちに使用を中止してください。
- 本製品に強い衝撃を与えないでください。落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障の原因になることがあります。
- 本製品を取り付けたことにより発生した車両や車載品の故障、事故などの付随的損害について弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品には1年間の保証がありますが、microSDカード・接続コード類・固定バンドなどは保証対象外となります。
- 本製品は、車両の走行状態、事故時の状況を記録するための機器です。その他の目的や用途に使用した場合は、個人情報保護法やプライバシーの侵害、肖像権に抵触する場合があります。またこれらの件について当社は一切の責任を負いません。
- 運転時は交通ルールを守り、前方車両との車間距離や周囲の状況、運転環境に注意して必要に応じて安全運転に努めてください。
- 取扱説明書にしたがい正しく使用していた場合でも、動作を完全に保証するものではありません。万が一、それに伴う損失が発生しても当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- LED信号機は、映像がちらついたり、点滅しているような映像が記録される場合があります。信号機の識別や記録に関して、当社は一切の責任を負いません。
- LED照明やLEDヘッドライトなどは、映像がちらついたり、点滅しているような映像が記録される場合がありますが、本製品の故障ではありません。
- 液晶画面に映し出されている映像に、ちらつきが出たり映像が滑らかに動かないことがありますが異常ではありません。頻繁に発生する様であれば配線類の設置方法を変更するなどお試しください。
- 本製品は、あらゆる状況においての映像の記録を保証するものではありません。

- GPSで計測した走行速度と車両のスピードメーターでは計測方法が異なります。必ず車両のスピードメーターで速度を確認してください。
- 違法行為（スピード違反等）に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品の故障による代替品の貸出及び付随的障害、損害（車のトラブル、火災、電話代、レンタカー代、休業補償、商業損失等）についての補償は弊社では一切行なっておりません。
- GPS衛星の電波を受信できないトンネル・地下道・建物の中・ビル等に囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・森の中などでは、本製品のGPS機能が働かないため、GPSによる時刻を同期せず、かつ位置情報は動画に記録されません。

地デジ・FMラジオなどへの影響について

- 本製品はノイズ対策をしていますが、地域や配線の引き回しなどにより、テレビがフルセグからワンセグに切り替わったり、ラジオに雑音が入ることがあります。地デジやラジオの線から離して本製品の配線を引き回すことにより回避できることがあります。また、これらのアンテナ線と本製品の配線を一緒に束ねないでください。
- ミラー内部にワイヤレスキーの受信機が内蔵されている車種によっては、ワイヤレスキーによるドアの施錠・開錠が正常に作動しなくなる恐れがあります。

使用上のご注意 ⚠注意

- 本製品を使用中の交通事故、交通違反に関しては、弊社は一切の責任を負いかねます。安全運転を心がけてください。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品は全ての状況においての映像を記録するものではありません。また、事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- 本製品の衝撃感知機能について、衝撃が小さすぎるときや、極端に衝撃が大きい事故などの場合、正常に録画や記録ができないことがあります。
- 本製品の記録は完全に起動するまで記録は開始されません。完全に起動してから運転してください。
- 本製品のボタンやタッチパネルに過度な力を加えないでください。故障や破損の原因になることがあります。
- **リヤカメラのレンズは広角であるため実際のミラーの見えかたとは異なります。特に取り付け直後は距離感に注意して走行してください。**
- 本製品は電波干渉の対策をしていますが、地デジやラジオなどの受信環境により電波干渉の影響がでることがあります。
- 液晶画面に映り込みがあり見えにくいときはミラーモードで使用するかミラーを映り込みし難い角度に変えてください。

⚠注意

⚠ 本製品を取り付けるときはエンジンを停止してください。

⚠ 本製品に磁気をおびているものを近づけないでください。本製品の誤作動および故障の原因になります。

⚠ 車両のガラスと本製品のレンズ表面をきれいにしてください。ホコリや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できないことがあります。また、タバコやホコリなどにより鮮明に録画できないことがあります。

⚠ トンネル入出時のように、急に明るさが変化するときや逆光が強いとき、夜間光源が無いなどの条件下では、録画画質が低下することがあります。

⚠ LED方式の信号機やLEDランプ類は画面がちらついたり、点滅しているような映像が記録されたり、色の認識ができないことがあります。

⚠ 地デジなどテレビやオーディオ類のアンテナ付近や電装品の付近に取り付けると、アンテナ感度の低下やチラツキ、ノイズの原因になることがあります。

⚠ microSDカードの保存容量に注意してください。緊急録画で記録された動画は上書き保存されないため、緊急録画のファイルが増えるとmicroSDカードの保存容量が不足し録画できなくなります。必要に応じてファイルを削除してください。

本製品の電源ON機能について

●本製品は車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にすると、本製品の電源がオンになります。また車両のエンジンスイッチをオフにすることで、本製品の電源がオフになります。

アイドリングストップ車での電源オフについて

●本製品をアイドリングストップ車で使用される場合、車両のバッテリー電圧の状態により、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで本製品の電源がオフになることがあります。その時は電源ボタンを押して再度電源を入れるようにしてください。

電源接続コードについて

●電源接続コードのアクセサリープラグは車両のアクセサリーソケットに直接接続してください。増設ソケットや延長ソケットに接続したときはご注意ください。接触不良による誤作動やプラグの発熱により、故障の原因になります。

●電源接続コードを接続したとき、車両によりエンジンが停止してもアクセサリーソケットに電源が供給されている車両があります。バッテリー上がりの原因になりますのでアクセサリープラグをアクセサリーソケットから抜いてください。

●電源接続コードは途中で切断しないでください。※アクセサリープラグ内で変圧しています。

本製品の日付と時刻について

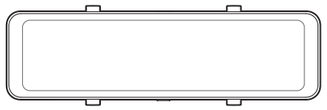
本製品の日付と時刻は GPS ユニットを本体に接続し、GPS を受信すると自動で設定されます。日付と時刻は動画ファイルの表示画面に記録されます。

※GPS が受信できない環境に長期間保管した場合、時刻にズレが生じることがあります。
※GPS ユニットを接続していないときは手動にて日付と時刻を設定してください。（P.19 参照）
※トンネルや高層ビル街などは GPS が正しく受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

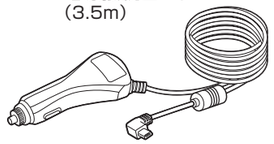
■ 梱包内容一覧

取り付けおよび接続する前に必ず以下の同梱物を確認してください。

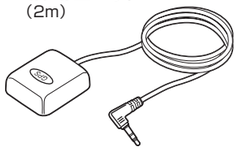
● 本体



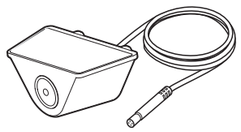
● 電源接続コード
（3.5m）



● GPSユニット
（2m）

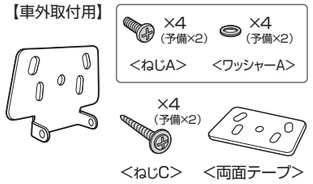


● リヤカメラ
（防水、防塵）

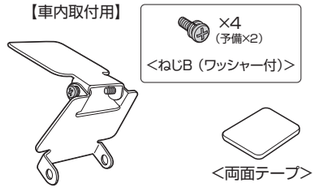


● リヤカメラ取付用ステー

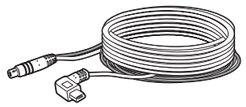
【車外取付用】



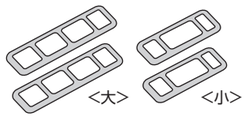
【車内取付用】



● リヤカメラ接続コード
（7m）



● 固定バンド



● microSDカード
32GB（Class 10）

※本体
挿入済み

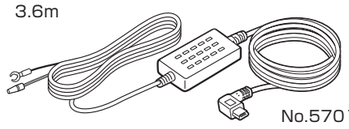
● クロス

※microSDカード／固定バンドは消耗品です。消耗部品の交換は保証期間内でも有料になります。

● 取扱説明書
（本紙）

オプション品（別売）

● 接続コード
3.6m



No.5701

● リヤカメラ延長コード
4.5m

No.5702

※電源接続コード・リヤカメラ接続コード・リヤカメラ・GPSユニットなど
専用品となっていますので、形状が同じでも他製品の物は使用できません。

ドライブレコーダーミラー 機能ガイド

本製品はフロントカメラとリヤカメラの映像および静止画像をmicroSDカードに記録します。必ずmicroSDカードを本体に挿入してからお使いください。ご購入時には本体にmicroSDカードは挿入されています。

■ 録画機能について

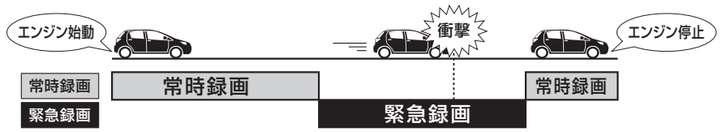
車両のエンジンスイッチを「ACC」または「オン」にすると、本製品の電源がオンになり、常に録画を続けます（常時録画）。常時録画中に、車両に大きな衝撃が加わると、その前後の映像を記録します（緊急録画）。

常時録画 （P.16参照）

本製品の電源オンから電源オフまで常に録画しています。

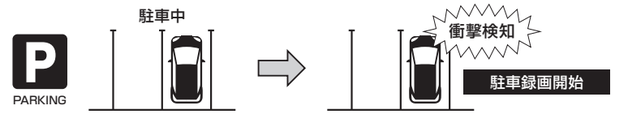
緊急録画 （P.17参照）

本製品が衝撃を感知すると常時録画から緊急録画に切り替わり、緊急録画を「Event」フォルダに記録します。



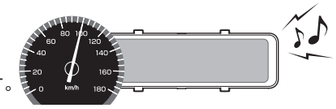
駐車衝撃監視録画 （P.17参照）

本製品の電源がオフのときに衝撃を感知すると駐車衝撃監視録画を開始します。録画は「Event」フォルダに記録します。



[速度超過お知らせ機能]

GPS の衛星信号を測位して走行速度を算出しています。
予め設定した走行速度に達すると警告音にて速度超過をお知らせします。

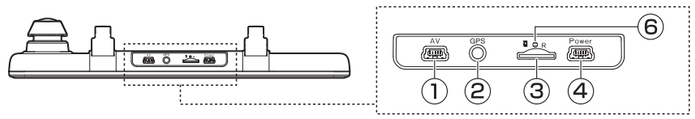


※GPS で計測した走行速度と車両のスピードメーターでは計測方法が異なります。必ず車両のスピードメーターで速度を確認してください。

■ 各部の名称とはたらき

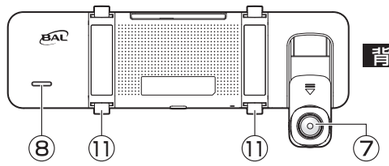
<本体>

上面

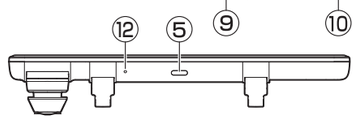


正面

背面



下面



① **リヤカメラ接続miniUSB ポート**
付属のリヤカメラ接続コードを接続します。

② **GPS ユニット接続ポート**
付属のGPS ユニットを接続します。

③ **microSD カードスロット**
microSD カードを挿入します。
（工場出荷時本体に挿入済）

④ **電源接続miniUSB ポート**
付属の電源接続コードを接続します。
（オプション品の接続コードを接続します。）
⚠ 注意：当社指定の接続コード以外は絶対に接続しないでください。正常に作動しなかったり、故障の原因になります。

⑤ **電源ボタン／モード切替ボタン**
短押し（電源ON時）：走行モード（カメラ映像）／ミラーモードに切り替わります。
※いずれのモードも前後録画は行われています。
長押し：電源のON／OFFができます。

⑥ **リセットボタン**
電源がON のときにリセットスイッチを押すと、本製品が再起動します。
⚠ 注意：本製品が正しく作動しなくなった時に押してください。
⚠ 注意：リセット中はSD カードの抜き差しはしないでください。

⑦ **フロントカメラ**
⚠ 注意：工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。
ご使用前に必ず剥がしてください。

⑧ **スピーカー**
操作音やファイル再生時に録音された音声が出力されます。

⑨ **液晶モニター（タッチパネル式）**
⚠ 注意：工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。
ご使用前に必ず剥がしてください。

⑩ **ミラーフレーム**
⚠ 注意：この（端）部分をタッチしても液晶画面は反応しません。

⑪ **取付固定具**
固定バンドを引っ掛けるときに使用します。

⑫ **マイク**

⚠ 注意 ①・②・③ の抜き差しは必ず電源がオフの状態で行ってください。故障の原因となります。

■ microSDカードの取り扱い

■免責事項について

本製品の使用や故障によって生じた損失およびmicroSDカードに記録された映像やデータの破損、それらによる損害については、弊社はその責任を一切負いかねます。
仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
本製品の誤った取り付け、使用による事故などの責任は一切負いかねますのでご了承ください。

⚠注意
- 事故発生時は録画ファイルが上書きされないように必ず電源をOFFにしてからmicroSDカードを取り外して保管してください。または本製品の電源を抜いてください。
- 取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも、動作を完全に保証するものではありません。万が一それに伴う損失が発生しても弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

重要
- **初めて使用するときは必ず本製品でmicroSDカードのフォーマットを行ってください。また1～2週間に一度、microSDカードをフォーマットしてください。**

※フォーマットのしかたは、P.7 “microSDカードのフォーマットのしかた”の項目を確認してください。

? microSDカードのフォーマットは必要ですか?
microSDカードはフォーマットせずに使い続けると、記録できない領域（不良セクタ）が発生します。不良セクタには書き込みができないため、不良セクタが多くなると記録時間が短くなり、「記録できない」「必要なファイルが上書きされてしまう」といったことが起こる可能性があります。1～2週間に一度microSDカードをフォーマットすることで、正常に記録することができますので必ずフォーマットを行ってください。

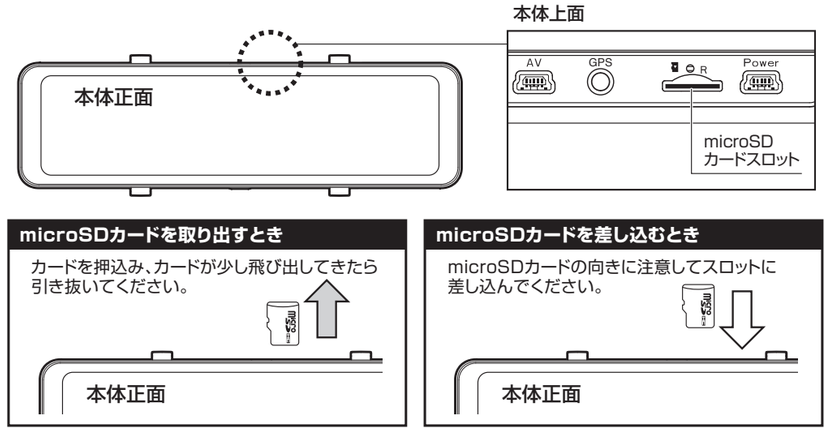
弊社取扱のmicroSDカードをご使用ください。
microSDカードは弊社にてお取扱していますので、弊社までお問合せください。（32GB・64GB・128GB）

⚠使用上のご注意

- 市販品のmicroSD カードを使用すると記録ができない恐れがあります。　※付属のmicroSDカードは 32GB Class10 です。
- microSD カードの容量によっては起動時間が変動することがあります。
- 本製品の電源がONの状態でmicroSD カードの抜き差しをしないでください。抜き差しの際は本製品の電源を必ずOFF にしてください。
- 思わぬ故障や破損等により、microSD カード内のデータが消失する可能性がありますので、定期的にデータのバックアップをお勧めします。
- microSD カードの定期的なフォーマットをお勧めします。長期間使用すると記録容量不足となり記録できないことがあります。※推奨 1～2 週間
- microSD カードのフォーマットは必ず本製品で行ってください。パソコンなどでフォーマットしたときは本製品で認識しないことがあります。
- microSD カードをフォーマットすると、記録された内容が全て削除されます。予めパソコンなどにバックアップすることをお勧めします。
- フォーマット作業によるmicroSD カードのデータ消失やその他の損害が発生したときに、弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSD カードは消耗品です。正常に作動していても繰り返しデータを書き換えることにより長期間使用すると正常に記録できなくなることがあります。定期的に新しいmicroSD カードと交換することをお勧めします。
- microSD カードのエラー発生時は記録ファイルが復旧できないことがあります。
- microSD カードに起因する故障や損傷において、弊社は一切の保証を負いかねます。
- 本製品は 8GB ～ 128GB　Class10 のmicroSD カードに対応しています。ただし弊社取扱品以外のmicroSD カードの動作を保証するものではありません。
- Class10 を謳っていてもUHS 規格の製品は動作しないことがあります。
- 市販のmicroSD カードによっては、認識しないことやmicroSD カードスロットへの抜き差しがしにくいことがあります。
- カメラなど、他の機器でmicroSD カードのフォーマットを行うと、本製品で正常に作動しません。microSD カードのフォーマット（初期化）は本製品で行ってください。本製品でフォーマットできないmicroSD カードは使用できません。
- microSD カード内のデーターはお客様の責任において管理してください。
- microSD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる可能性があります。保存したファイルが失われたことによる損害については、当社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- 事故などの衝撃が加わったときは、本製品の電源をオフにして、必要なファイルが上書きされないようにmicroSD カードを取り出してください。

[microSDカードの取り出しと取り付け]

microSDカードを取り出し/取り付けする前に必ず本製品の電源がOFFになっていることを確認してください。 ※本製品が起動中にmicroSDカードの取り出し/取り付けするとデータの破損や消失の原因になります。



microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認してください。
※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。差し込みが不十分な時はカードが少し飛び出します。

■最大録画可能時間について

microSDカード容量		32GB	64GB	128GB
最大録画可能時間	1080P	約160分	約320分	約645分
	720P	約220分	約440分	約880分

※フロントカメラ ＋ リヤカメラの場合　　※microSDカードのシステム領域は含まれません。

- 最大録画可能時間はあくまでも目安の数字となり、録画環境などにより変動します。
- 最大録画可能時間は、常時録画･緊急録画･静止画を含めた録画時間の合計です。
- 緊急録画のファイル数が増え、ファイル保存割り当ての上限に達すると、緊急録画ができなくなります。必要に応じてファイルを削除またはmicroSDカードの内容をバックアップして、microSDカードのフォーマットをしてください。

⚠必ずお守りください

本体ディスプレイに『**SDカードをフォーマットしてください**』が表示されたときは、

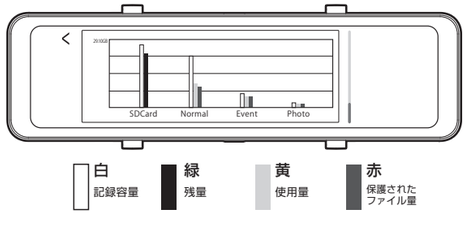
安全な場所に停車し、フォーマットを行ってください。

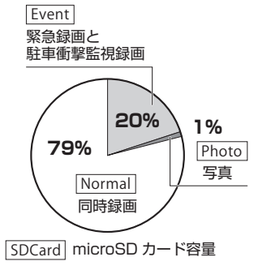
緊急録画の保存が上限に達すると、**●緊急録画ができなくなります。●常時録画ができなくなります。**

※microSDカードのフォーマットのしかたは、P.7に記載されています。

■記録容量の割り当て

本体に挿入されたmicroSDカードの記録状態が確認できます。





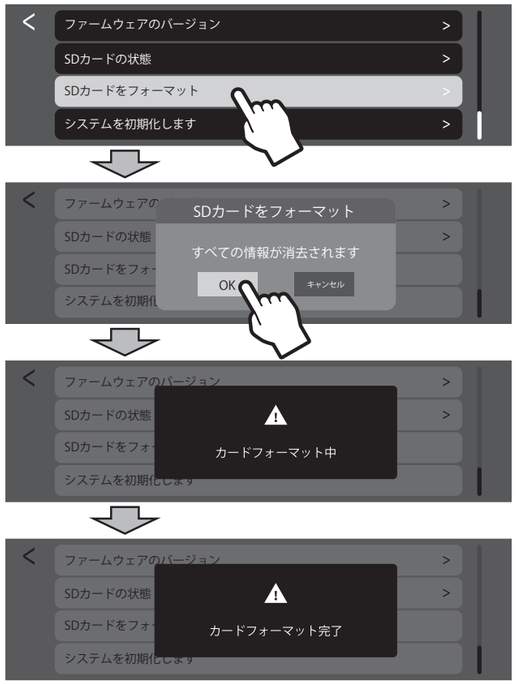
■ microSDカードの取り扱い

[microSDカードのフォーマットのしかた]

● 緊急録画のファイル数が増え、ファイル保存割当の上限に達すると、緊急録画ができなくなります。必要に応じてファイルを削除またはmicroSDカードの内容をバックアップして、microSDカードのフォーマットをしてください。

1. 録画停止状態で ⚙ アイコンをタッチし、設定メニュー画面から『SDカードをフォーマット』を選択してください。
   ※詳細はP.14"液晶モニター表示"および P.19"設定メニュー画面"を参照してください。
2. 『OK』をタッチするとフォーマット完了です。

[表示画面]　⚠フォーマットを行うと緊急録画を含む全ての録画ファイルが消去されます。



? このポップアップが表示されたときはmicroSDカードがSDスロットに挿入されていません。microSDカードを挿入してください。

※付属のmicroSDカード以外を使用すると、認識しないことがあります。

⚠ 録画していません。
カードを確認してください。

? このポップアップが表示されたときはmicroSDカードが認識されていないことがあります。

※microSDカードは繰り返しデータを書き換えることにより消耗する特性をもっており、寿命があります。定期的に新しいmicroSDカードと交換することをお勧めします。

⚠ カードエラーにより録画できません。

? このポップアップが表示されたときはmicroSDカードのフォーマットができていません。フォーマットしても同じ表示がでる場合は新しいmicroSDカードに交換してください。

⚠ カードフォーマット失敗

■ 取り付けかた

取り付けについて　⚠注意

取り付けの前に必ず仮配線（仮接続）にて動作確認を実施したのち、本配線してください。

⊘ シートベルトやエアバックなどの安全装置の動きを妨げる場所には取り付けないでください。事故の際に安全装置が働かず、ケガの原因となります。

● 配線の取り付け/取り外しは、配線設置時に配線を無理に引っ張ったり、ボディなどの鋭利な箇所により断線・短絡することがあります。専門の技術者に依頼・相談してください。取り付けには専門技術と経験が必要です。
● 運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼすような場所へは絶対に取り付けないでください。
● 取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しないでください。
● 本製品の取り付け・配線後は、車両の電装品などが正常に作動するか確認してください。車両の電装品（保安部品・ナビゲーションや操作パネルなど）が正常に作動しない状態で走行した場合、事故の原因になります。
● コード類は、運転や乗降の妨げにならないように引き回してください。運転操作や乗降の妨げにならないようにまとめたり固定するなど、配線の処理をしてください。適切に処理しないと事故やけがの原因になります。
● 取り付け・配線作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。バッテリーのマイナス端子を繋いだまま取り付け・配線作業をすると、ショートなどの原因になることがあります。
● 使用しないコードの先端や金属部分が露出している箇所は、必ず絶縁処理をしてください。車両の金属部分に接触するとショートや発火の原因になることがあります。
● 本製品を車両に穴を開けて取り付けするときは、配線やパイプなどの位置を確認してから取り付けてください。取り付けるときは配線やパイプ類に接触しないようにしてください。また振動しないように確実に固定してください。
● 電源接続コードは付属品を必ず使用し、アクセサリープラグはアクセサリーソケットの奥まで確実に差し込んでください。アクセサリープラグを奥まで確実に差し込んでいない場合、接触不良によりプラグ本体が発熱しプラグを変形させるばかりではなく火災の原因になります。
● 各コード類を傷つけないでください。また、傷ついたコードは使用しないでください。傷ついた箇所がショートし火災の原因になります。
● 電源接続コードのプラグに内蔵されているヒューズが切れた時は、必ずミニ管ヒューズ3Aと交換してください。定格以外のヒューズや針金などを使用すると、異常過熱や発火の原因になります。
● 高温になる場所などあらゆる熱源から離して取り付けてください。直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると本体内部の温度が上昇し故障の原因になることがあります。
● 振動の多い場所や不安定な場所へ取り付けないでください。振動の多い場所や強い曲面などに取り付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。
● リヤガラスがプライバシーガラスのときやフィルムを貼っている車両は、夜間映像が見えにくいことがあります。リヤカメラを車外へ取り付けることをお勧めします。
● リヤカメラの取り付け位置によっては、ハイマウントストップランプの光や後続車両のライトにより映像が見えにくいことがあります。また、車内に取り付けたときは、光の差し込み具合などにより車内がリヤガラスに映り込み、映像が見えにくいことがあります。
● リヤカメラを室内に取り付けたときはワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時などに鮮明に記録できないことがあります。
● リヤカメラの取り付け位置がリヤガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。
● ラジオやテレビアンテナなどの近くに配線を設置すると、ラジオやテレビの受信感度が下がることがあります。
● 取扱説明書に従い正しく取り付け・配線をしてください。従わない場合は事故や故障の原因になります。
● タバコや可燃物および火気の近くで使用しないでください。また埃などの多い場所で使用しないでください。故障の原因になります。
● 本製品は防水、防滴ではありません。湿度が極端に高い場所や水などがかかる場所へ設置しないでください。漏電・感電や故障の原因になります。また、故障の原因となる悪環境下でも使用しないでください。
● 道路の状態により振動で本製品の取り付け位置がずれることがあります。適時適切な位置に固定されているか確認してください。
● 子供・乳幼児が容易に触れることができる場所へは設置しないでください。
● 液晶モニターは周囲の温度が約75℃以上になると、液晶モニター全体が黒くなったり、約 −10℃以下になると映像が遅れて表示されたりすることがあります。周囲の温度が液晶モニターの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。
● 炎天下などで日よけを使用する際は、本製品をフロントガラスとサンシェードなどの間に挟み込ませないでください。熱がこもりやすくなるため本製品の故障に繋がることがあります。
● 本製品の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こすことがあります。
● 各種コード類は束ねないように設置してください。設置方法や場所によってはノイズの影響を受けることがあります。

■ 取り付けかた

⚠ 取り付け上のご注意

⚠ 警告

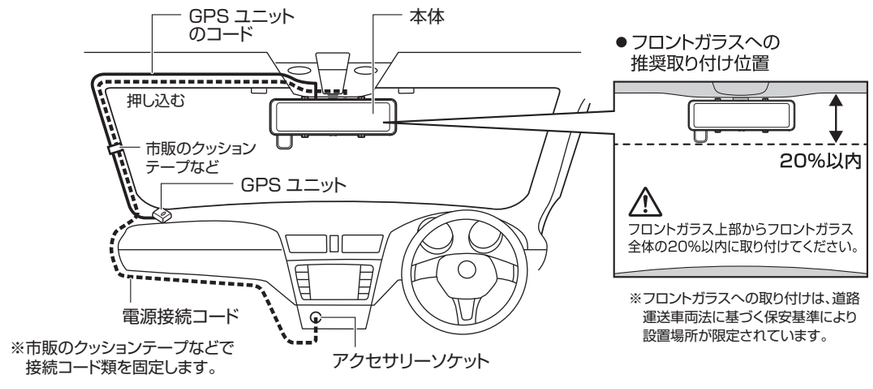
- 道路交通法や関連する法令･規定などに抵触しないように正しく取り付けしてください。
- 走行中、運転者によるミラーの角度調整は大変危険ですので絶対にしないでください。
- 本製品は純正ミラーと距離感、視界の範囲が異なりますので、ご注意ください。
- 本製品を運転支援システム搭載車に取り付けるときは、車両の取扱説明書を確認して運転支援システムに影響を及ぼすことがないか確認してください。

⚠ 注意

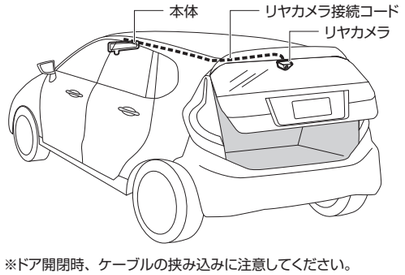
- 取り付けの際は、純正ミラーに負担がかからないように取り付け作業をしてください。
- 正面から見てなるべく純正ミラーの中心になるように取り付けてください。
- 運転手の視界を妨げず、車両前方がすべて映像として記録できる位置に取り付けてください。
- 衝突安全装置搭載車両については、システム部がカメラの映像範囲内に入ることがあります。
- 本製品を取り付けるときに、液晶モニターおよびミラー面を指などで強く押したり、乱暴に扱うなど無理な力を加えないでください。
- 本製品の角度調整をするときは、本製品だけを持って調整すると外れる可能性がありますので、純正ミラーを一緒に持って調整してください。
- 液晶が汚れたときは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。拭き取りのときに強くこすりつけたり、溶剤などが付いたものでこすらないでください。液晶モニターの破損や傷の原因になります。
- 紫外線の影響により本製品の変色および固定バンドが劣化することがあります。
- 取り付けの前に車両の取り扱い説明書をよくご覧になり適切に取り付けしてください。
- 純正ミラーは、車種によっては簡単に角度を調整できるように軽い力で動く仕様になっております。本製品を取り付けることによって、純正ミラーが走行時に揺れることがあります。その場合、純正ミラーの調整が可能な場合がありますので自動車販売店等にご相談ください。
- **上記の警告･注意に従わず誤った使用･分解･改造をされた際の事故･故障･破損などについて弊社は一切の責任を負いかねます。**

ケーブルの引き回しと取り付け位置例

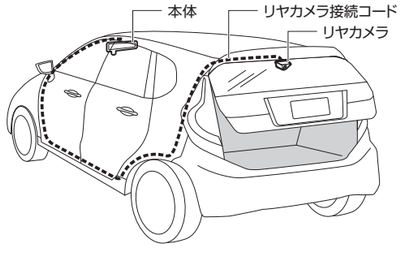
■ 本体（P.10）／電源接続コード（P.10）／リヤカメラ（P.11）／GPSユニット（P.13）



リヤカメラ接続コードを天井配線する場合



リヤカメラ接続コードを床面配線する場合



※ドア開閉時、ケーブルの挟み込みに注意してください。

本体（固定バンド）の取り付け

固定バンドを使って、車両の純正ミラーに本体を取り付けます。

純正ミラーの形状に応じて、<大><小>いずれかの固定バンドをご使用ください。

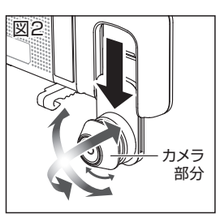
1.固定バンドを取付固定具の上側に引っ掛けます。（図1）

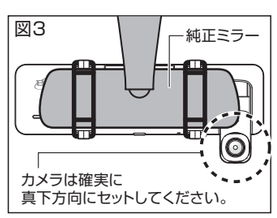
2.フロントカメラを真下方向に下ろしてください。
※必ず真下方向にセットしてください。また、カメラ部分は上下左右に角度が微調節できます。（図2）

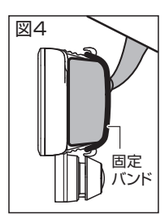
3.純正ミラーを挟み込んで固定バンドを純正ミラーの後ろから取り付け固定具の下側に引っ掛けます。（図3）
※取り付けの際は本体をしっかりと支えながら取り付けてください。

4.もう一つの固定バンドも同じ方法で取り付け、本体の位置を調整してください。

5.本体が確実に固定されていることを確認してください。（図4）
※本体が水平を維持するように取り付けてください。
※本体のミラーで後方がしっかり見えることを確認してください。
※運転者の前方視界を妨げない位置に取り付けてください。



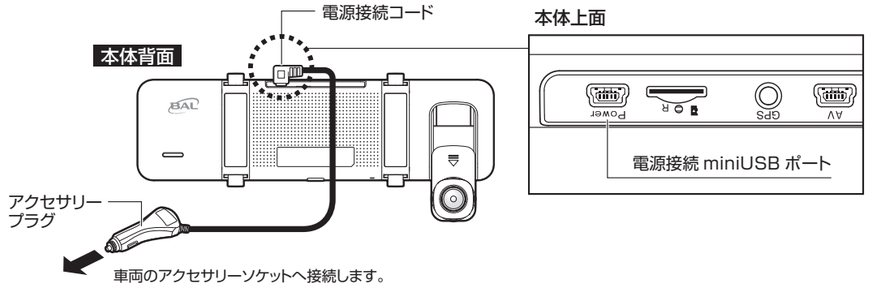




電源接続コードの取り付け

必ず車両の電源がOFFになっていることを確認してから接続作業をしてください。

1.付属の電源接続コードを本体に接続し、アクセサリープラグを車両のアクセサリーソケットに接続してください。
※電源接続コードは本体の電源接続miniUSBポート（Power）に接続してください。
リヤカメラ接続ポート（AV）に接続した場合は電源が入りません。



⚠ 注意

- 電源接続コードは必ず付属品を使用してください。付属品以外を使用すると本製品もしくは車両が破損する可能性があります。
- 安全に運転するために運転の妨げにならないようにコードを配線してください。
- お客様自身でコードを切断したり改造したりしないでください。本製品や車両を損傷する危険性があります。
- アクセサリープラグ内には12V/24Vから5Vに変換する回路が内蔵されています。アクセサリープラグの改造、加工は故障の原因となりますので絶対にしないでください。また、電源接続コードからアクセサリープラグを切断することはしないでください。

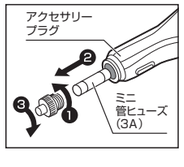
ヒューズの交換

ヒューズが切れたときは、ミニ管ヒューズ（3A）をご用意ください。

❶ アクセサリープラグ先端を反時計方向に回して外します。

❷ 次に中のミニ管ヒューズを引き抜いて新しいヒューズ（3A）と交換してください。

❸ アクセサリープラグの先端部分を時計方向に回して取り付けます。



■ 取り付けかた

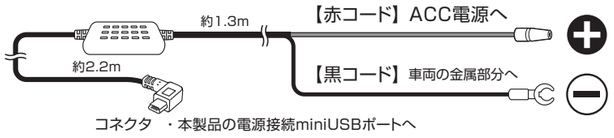
接続コード No.5701 について（オプション）

作業中のショート防止のため、車両へ接続するときは、車両のバッテリーのマイナス端子を外してから作業してください。車両の電装品類はバッテリー端子を外すとメモリーの内容が消えてしまうことがあります。配線接続後は車両の電装品が正常に動作することを確認してください。車両の電装品（ブレーキ・ライト・ホーン・ウインカー・ハザード）が正常に作動しない状態で使用すると、火災や事故の原因になります。

重 要 赤色コード（プラス）と黒色コード（マイナス）を誤って逆接続すると故障します。配線を接続する際は十分に確認をしたうえで接続してください。

【配線の接続方法】

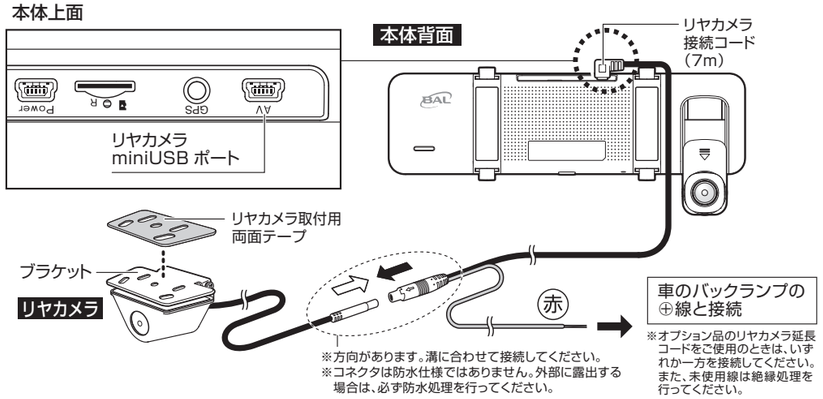
● 赤色コードは必ずエンジンキーと連動してON／OFFする車両のアクセサリー電源に接続してください。



リヤカメラの配線と取り付け

車両のバックランプ配線との接続（バック連動）

バック連動（リバース連動）でバックカメラとしても使用するときは、車両のバックランプの⊕線にリヤカメラ接続コードの赤色線を接続してください。 ※配線に負荷のかからないように引き回ししてください。



【リヤカメラの取り付け】

リヤカメラは取り付ける場所により取り付け方が異なります。はじめに取り付ける場所を確認し、適切な取り付け方法を選択してください。 ※オプション品のリヤカメラ延長コードは最大2本まで接続できます。（合計16m）

⚠ 注意

・工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に必ず剥がしてください。
・あらかじめカメラを仮接続し、取り付け位置を確認してください。※上下、左右を反転して設定可能です。
・取り付け位置により太陽光など光の反射の影響を受けやすくなることがあります。取り付けるときは適切な位置を確認しながら取り付けてください。また、車内に取り付けたときは、光の差し込み具合などにより車内がリヤガラスに映り込み、映像が見えにくいことがあります。

1.取り付け場所が決まったら、貼り付ける面をきれいに清掃してください。
油分や汚れが付着した状態で貼り付けると走行中にリヤカメラが外れる危険性があります。

2.両面テープ片側のフィルムを剥がして、ブラケットに貼り付けてください。

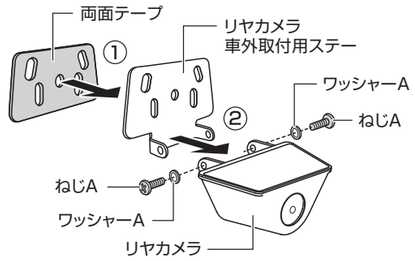
3.リヤカメラのブラケットに貼りつけた両面テープのフィルムを剥がして取り付け位置に押し付けます。
※外気温が10℃以下の低温時には十分な接着力が得られないことがありますので、低温時を避けてください。また炎天下など高温時も粘着力が得られないことがあります。

4.液晶モニターの画像を確認しながらリヤカメラの角度を調整してください。
※リヤカメラは上方向から下方向に見下ろすような角度での取り付けをお勧めします。
（後続車のヘッドライトの明かりがリヤカメラに直接入り込むことを防ぐため）

車外 取り付けの場合

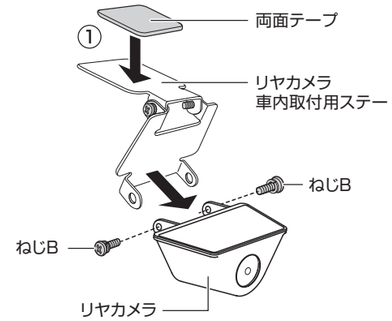
①リヤカメラ車外取付用ステーに付属の両面テープを貼り付けます。
②⊕ドライバーを使用し、リヤカメラとステーを付属のねじAとワッシャーAで取り付けます。
③画面を確認して角度を決めてから⊕ドライバーでねじA を締めてしっかり固定します。

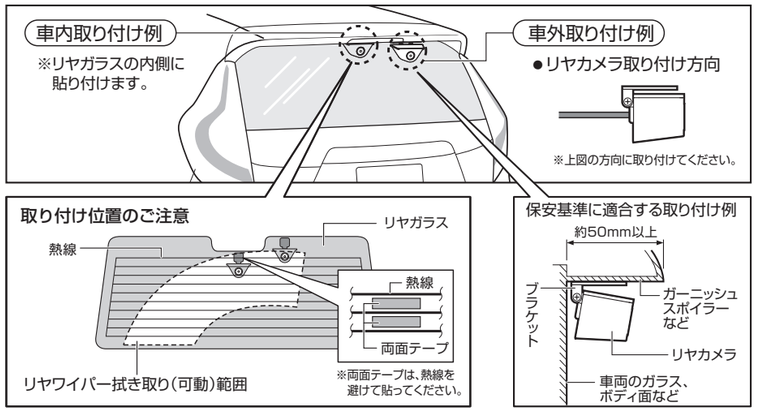
※車体にねじで固定する場合は、付属のねじC をご使用ください。



車内 取り付けの場合

①リヤカメラ車内取付用ステーに付属の両面テープを貼り付けます。
②⊕ドライバーを使用し、リヤカメラとステーを付属のねじで取り付けます。
③画面を確認して角度を決めてから⊕ドライバーでねじを締めてしっかり固定します。





重 要

・リヤカメラの取り付け位置や取り付け方法には注意が必要です。保安基準では、直径100mmの球体が接触する範囲に鋭い突起物があってはならないので、カメラの周囲半径約100mmの平坦な面に装着する場合、カメラステー部分が基準に抵触する恐れがあります。

【外装の技術基準 概要】
『自動車と人との接触の際に人が負傷する危険性を減らすため、自動車の外装表面には曲率半径が2.5mm 未満である突起を有してはならない。』
第 18 条 細目告示別添 第 1 節 別添 20「外装の技術基準」詳しくは、国土交通省自動車交通局ホームページを参照ください。

http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/kokujitou_index.pdf
http://www.mlit.go.jp/jidosha/kijyun/saimokubetten/saibet_020_00.pdf

⚠ 注意

・ブラケットにしっかりと固定されていない場合、走行中にリヤカメラが落下し、損傷する可能性があります。
・リヤガラスにフィルムが貼られている場合、正常な映像を記録できないため、リヤカメラは室内に取り付けないでください。フィルムが貼られている場合、リヤカメラは車外に取り付けてください。
・リヤカメラを車外へ取り付けるときは、熟練した技術が必要です。必ず専門の技術者へ相談または技術者が取り付けてください。
・バックドアやトランクの開閉時にコードがあたらないことを確認してください。
・リヤカメラを車内に取り付けたときに、撮影範囲の半分程度に車内が撮影されているときは、車外の映像が白くなることがあります。この場合はリヤカメラの取り付け位置を変更するかカメラの角度を変更し、車外が鮮明に撮影されるように調整してください。
・車両のラジオアンテナやテレビアンテナ、その他の電子機器の近くに取り付けるとノイズの影響を受けることがあります。この場合、影響を受けている機器から離して取り付けてください。
・リヤカメラ取り付け後、24時間以内に水などがかからないようにしてください。また直ぐに走行されると振動などにより外れる可能性があります。

■ 取り付けかた

GPSユニットの取り付け

GPSユニットを取り付けると、GPSを測位した場合、

①時刻･日付をGPS時刻と同期

②映像録画時に速度･位置情報　を記録することができます。

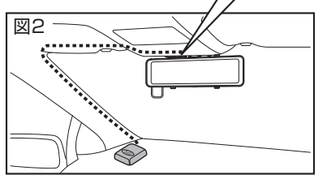
③速度超過をしたときにお知らせします。

⚠ GPSユニットを車内に取り付けるときは、ダッシュボードの上などなるべく水平な場所に取り付けてください。

1.取り付け場所が決まったら、貼り付ける面をきれいに清掃してください。油分や汚れが付着した状態で貼り付けると走行中に外れる危険性があります。

2.GPSユニットを、本体上面のGPSユニット接続ポートに接続してください。（図1）

3.GPSユニットからフィルムを剥がして、取り付け位置に押し付けます。（図2）



⚠ 注意

・外気温が10℃以下の低温時には十分な接着力が得られないことがありますので、低温時を避けてください。
また炎天下など高温時も粘着力が得られないことがあります。
・貼り直しは粘着テープの粘着力が低下しますのでしないでください。
・GPSユニットは車両のボディーなどで衛星の電波が遮られない所に取り付けてください。
・GPSユニットを塗装したりしないでください。性能が落ちることがあります。
・GPSユニットは本製品から離して取り付けてください。近くに取り付けると衛星からの受信感度が低下することがあります。
・GPSの受信はトンネルや建物の中にいる場合は受信ができません。また、悪天候や密集した頭上の障害物などの影響を受ける可能性があります。
・GPSユニットは各車載機器および各アンテナ類からなるべく離して設置してください。近くに取り付けるとGPSユニットが正常に機能せず受信に影響したり本製品もしくは各車載機器が誤作動を起こす原因になることがあります。

■ 使いかた

電源ON／OFFについて

『電源のON』

本製品の電源接続コードを車両のアクセサリーソケットまたは電源端子に接続し、アクセサリー電源をONまたはエンジンを始動すると、数秒後に本製品の電源が自動的にONになり、オープニング画面が表示されたのちシステムが起動します。
手動で電源をONにするときは、電源ボタンを長押しするとONになります。

※電源をONにしてから起動するまで数秒かかります。運転を開始するときはご注意ください。

『電源のOFF』

車両のアクセサリー電源をオフまたはエンジンを停止すると液晶画面が消え約8秒後に「ピッ」と鳴り本製品の電源が自動的にオフになります。
手動で電源をオフにするときは電源ボタンを長押しするとクロージング画面が表示されたのち本製品の電源が自動的にオフになります。

※電源をOFFにしてから完全に停止するまで約15秒かかります。

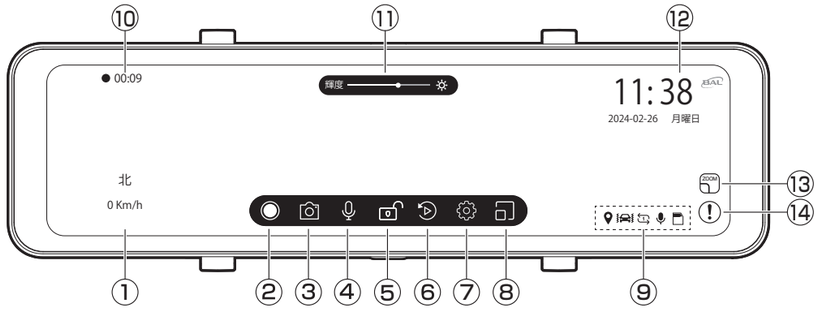
⚠ 注意

・本製品はバッテリー電圧によって、エンジンを始動したときに起動しないことがあります。
この場合エンジン始動後に本製品の電源ボタンを押して電源をONにしてください。

アイドリングストップ車での使用の場合

・本製品をアイドリングストップ車で使用している場合、車両のバッテリー電圧によって、アイドリングストップの状態からエンジンが始動したときに本製品の電源がOFFになることがあります。この場合、本製品の電源ボタンを押して電源をONにしてください。

液晶モニター表示



[表示／設定メニューリスト]

① 北 0 Km/h　**GPS 速度／方位アイコン**　GPS が正常に受信されると方角／速度が表示されます。

② **録画開始/ 停止アイコン**　このアイコンをタッチすると、手動で録画の開始/ 停止ができます。
白 ●　••••録画状態　／　赤 ■　••••録画停止状態

③ **静止画像アイコン**　このアイコンをタッチすると、フロントカメラの静止画像を撮影します。

④ **マイクアイコン 音声の録音をON/OFF**　このアイコンをタッチすると、録画時の音声録音のON/OFF ができます。

⑤ **ロックアイコン**　このアイコンをタッチすると、録画しているファイルをロックして保護します。
※このアイコンでファイルをロックした場合は、常時録画時間で設定した時間のファイルが録画されます。
※緊急録画中は、 アイコンが黄色で表示されます。

⑥ **ファイル再生モードアイコン**　（P.21 “再生モード” 参照）
このアイコンをタッチすると記録されたファイルの再生モード画面に切り替わります。
※再生モード画面に切り替えるときは、録画を停止する必要があります。

⑦ **設定メニューアイコン**　（P.19 “設定メニュー画面” 参照）
このアイコンをタッチすると、設定モード画面に入ります。　※設定モード一画面に入るためには録画を停止する必要があります。

⑧ **クイックズームアイコン**
リヤカメラ画像の拡大/ 縮小をするときにアイコンをタッチすると、拡大/ 縮小します。（P.20 “リヤカメラズーム機能” 参照）
※広視野角画面（標準画面）と設定した倍率画面（×1～20）との切り替えができます。
※拡大しても保存されたファイルのサイズは変更されません。　※初期設定は×10で設定されています。

⑨ **GPS ユニットを接続／測位インジケータ**　（P.17 “緊急録画” 参照）

録画時間間隔設定インジケータ。録画時間間隔（1 分、2 分、3 分）の設定時間を表示します。

マイクインジケーター。音声録音の状態を表示します。オフの時は と表示されます。
（P.19 “設定メニュー画面” 参照）

本体へのmicroSD カードの有無を表示します。
本体へのmicroSD カードが未挿入の場合は と表示されます。

⑩ ● 00:09 **録画中表示アイコン**
録画中は赤”●”が点滅し、赤色で経過時間を表示します。「緊急録画」時は”○”が黄色に点滅します。

⑪ 輝度 ※ **画面明るさ設定アイコン**
左右にフリック操作すると画面の明るさを調整できます。

⑫ 11:38 2024-02-26　月曜日 **カレンダーアイコン**
GPS ユニットを接続し受信しているときは自動的に補正します。GPS を受信していないときは手動で設定してください。
表示をタッチすると手動にて時刻/ 日付を設定できます。　※設定時に録画は停止します。

※microSDカードが挿入されていないときは、②③⑤⑥ は操作できません。
※約5秒間操作しないと設定メニューは非表示となります。設定メニューを表示させたいときは液晶パネルをタッチしてください。
※注　メニューリストを介さず直接操作できるアイコン

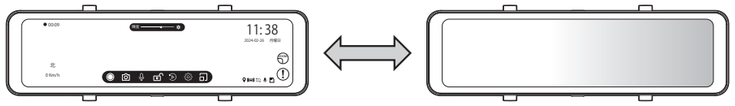
⑬ ZOOM **クイックスムーズアイコンで⑧と同機能**

⑭ ! **緊急録画アイコンで⑤と同機能**

■ 使いかた

[表示される映像]

● 本体の電源ボタン／モード切替ボタンを押すごとに走行モードとミラーモードの切り替えができます。　※いずれのモード時も前後録画は行われています。

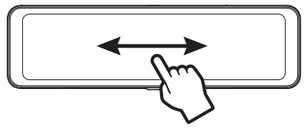


走行モード（カメラ画面）　　ミラーモード（ミラーのみ）

● カメラの映像を液晶モニターに表示させたり、撮影した動画を液晶モニターで確認できます。

[表示モードを切り替える]

● 液晶モニターを指で横にスライドさせるとフロントカメラとリヤカメラの画像が切り替わります。



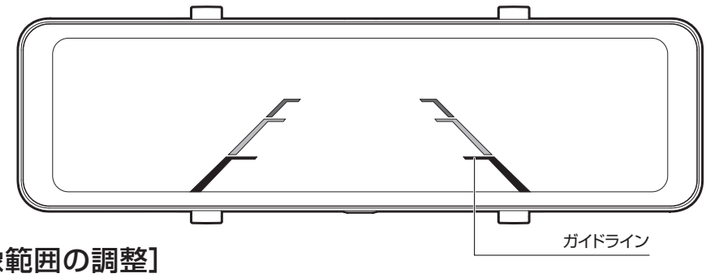
※リヤカメラの映像は左右反転し表示されますが、記録したファイルを再生するときは実際の向きに補正されます。
※安全のためフロントカメラ映像への固定はできません。30秒間操作していないときは自動的にリヤカメラ映像に切り替わります。

停車中、駐車中等、録画停止操作が行われた場合、30秒間操作していないときは自動的にリヤカメラ映像画面に戻り、録画を再開します。これにより万が一の時の録画漏れを防止します。

リバースギヤ連動表示

リヤカメラ接続コードを車のバックランプの ⊕ 線と接続すると、
リバースギヤに入れたときにガイドラインを表示することができます。

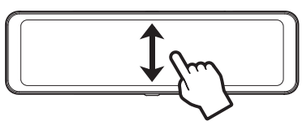
※ 車両のギヤがリバースに入ると、リヤカメラの映像は通常より下方を表示することも可能です。
※ 録画は通常時の映像が撮影されます。



[映像範囲の調整]

● 車両のギヤをリバースに入れた状態で、液晶モニターを指で縦にスライドさせると映像の上下が調整できます。

※ この調整位置は一度設定すると次回以降その調整位置で表示されます。



● ガイドラインの調整は、P.20“ガイドラインの調整”を参照してください。

⚠ 注意

・リバースギヤ連動表示は後方の障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
雨水などがカメラのレンズに付着すると、映像が見えにくいことがあります。

・リヤカメラの映像には、車両周囲の距離感を把握するガイドラインが表示されますが、全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。映像だけを見ながら車両を後退させることは絶対にしないでください。必ず目視で後方の確認をしてください。

・リバース表示には、配線の接続が必要です。配線を正しく接続しないとガイドラインは表示されません。
※配線の接続については、P.11“リヤカメラの配線と取り付け”を参照してください。

? このポップアップ画面が表示されたときは、リヤカメラのコネクタ外れ、または接続コードの断線が考えられます。各部を確認してください。

? 本製品の電源がオンの状態でリヤカメラが接続されるとこのポップアップが表示されます。

※走行中などでこのポップアップ画面が表示されたときは、コネクタ外れや接続コードが断線していないか確認してください。

? このポップアップ画面が表示されたときは、microSDカードが破損し記録できない状態になっている可能性があります。

※microSDカードは消耗品です。繰り返しデータを書き換えることにより消耗する特性をもっており、寿命があります。
定期的に新しいmicroSDカードと交換することをお勧めします。

録画について

本製品で撮影された動画/静止画像はmicroSDカードに保存されます。
microSDカードについては、P.5“microSDカードの取り扱い”を参照してください。

[録画の種類]

■ 常時録画

本製品の設定により1分／2分／3分間の常時録画をします。microSDカードの容量が上限に達した場合は古いファイルから自動的に上書きをして録画を続けます。

※重要なデータ消失を防ぐために、定期的なバックアップをお勧めします。
※常時録画時間の設定方法についてはP.19“設定メニュー画面”を参照してください。
※最大録画可能時間についてはP.6“ 記録容量の割り当て”を参照してください。

設定変更や録画再生するには録画停止状態でないと操作できません。液晶パネルをタッチし、メニューリストを表示させ ◉ をタッチして録画を停止させてください。

□ 常時録画の開始／停止

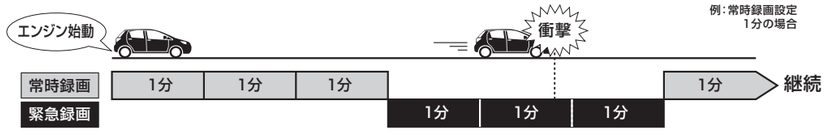
本製品の電源が ON になりシステムが起動すると、自動的に録画が開始されます。録画中は赤 “ ● ” が点滅し、赤色で経過時間表示します。

手動で開始／停止をするときは、液晶パネルをタッチし、メニューリストを表示させ、 ◉ をタッチして操作してください。

■ 使いかた

■ 緊急録画

常時録画中に または (!) アイコンをタッチ、またはGセンサーを設定しているときに衝撃を感知すると、緊急録画モードで録画を開始します。録画中は黄 “ ◯ ” が点滅し、赤色で経過時間を表示します。



・緊急録画中に ◉ アイコンをタッチすると緊急録画が停止され、約30秒後に通常録画を開始します。

・緊急録画中に アイコンをタッチすると「ファイル保護解除」と表示され通常録画に戻ります。

・緊急録画上書き設定が「オン」のとき、ファイルの古い順で上書きします。必要なファイルがあるときは、録画を保護しパソコンなどにファイルを保存してください。

⚠ 注意

・Gセンサー感度が「高」に設定されているときは衝撃を検出しやすくなっています。
Gセンサーの感度が「低」に設定されているときは強い衝撃のみ検出します。
※Gセンサー感度の設定方法はP.19“設定メニュー画面”を参照してください。

・Gセンサーによる衝撃感知で撮影された録画ファイルやロックされたファイルは保護ファイルとして保存され上書きされません。ロックされたファイルが増えると記録ファイルを保存することができなくなりますので、必要に応じてファイルを削除してください。
※ファイルの保存先や削除方法についてはP.21“再生モード”を参照してください。

⚠ 必ずお守りください

本体ディスプレイに **『カードをフォーマットしてください』** が表示されたときは、

安全な場所に停車し、フォーマットを行ってください。

緊急録画の保存が上限に達すると、● **緊急録画ができなくなります。**

重 要

・「緊急録画上書き」を「オン」に設定している場合、記録ファイルは緊急録画フォルダに記録されますが、ファイルロックはされていません。緊急録画フォルダの記録容量を超えたときは古いファイルから上書きされます。必要に応じてファイルをロックして保護してください。

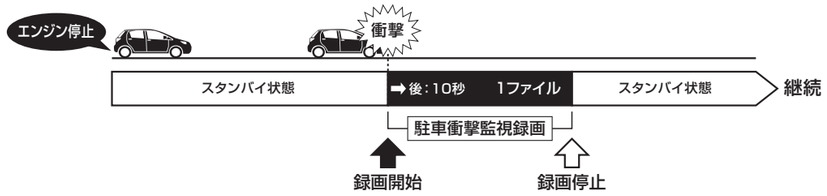
・「緊急録画上書き」を「オフ」に設定している場合、記録ファイルは緊急録画フォルダに記録され、ファイルはロックされ保護されます。ファイルの保護は手動でロック解除しない限り保護されます。

※SDカードをフォーマットすると、保護の有無にかかわらず全てのファイルが削除されますので、フォーマットする際はご注意ください。

■ 駐車衝撃監視録画

駐車衝撃監視を設定しているときに衝撃を感知すると、駐車衝撃監視録画モードで録画を開始します。
車両のエンジン停止後（ACCオフ）約5秒後に本製品の電源がオフになります。
本製品が衝撃を感知すると、自動的に約10秒間駐車衝撃録画をおこない、録画終了後、再び駐車衝撃監視スタンバイ状態になります。
車両のエンジン始動（ACCオン）すると、本製品の電源がオンになり常時録画が開始されます。

※駐車衝撃監視録画作動中にエンジンスタートすると、設定時間にて録画が記録されます。



⚠ 注意

・「駐車衝撃監視」をオフにすると、駐車衝撃監視録画スタンバイ状態になりません。
駐車衝撃監視の設定についてはP.19“設定メニュー画面”を参照してください。

・駐車衝撃監視録画は本製品の内蔵キャパシタにより作動します。内蔵キャパシタの状態によって駐車衝撃監視録画スタンバイ状態の時間は異なります。

・駐車衝撃監視録画で撮影された録画ファイルはロックされ上書きされません。

・車両のドアを閉めた時の振動を感知して駐車衝撃監視録画が作動することがあります。

・駐車衝撃監視録画スタンバイ状態は液晶パネルは表示されません。

・衝撃を感知してから約5秒後に録画を開始します。

・駐車監視録画が終了する前に更に衝撃を感知しても駐車衝撃監視録画は延長しません。

・駐車衝撃監視録画は24時間で録画時間10秒2回の録画を記録します。
※24時間を超える場合はエンジンを始動して内臓キャパシタを充電してください。
※駐車監視録画の記録回数は、キャパシタの充電状態や外気温･記録映像の状況により異なります。

? このポップアップが表示されたときは衝撃を感知し「駐車衝撃監視録画」が記録されています。

再生モードにて録画ファイルを確認してください。
表示を消すには液晶モニターをタッチしてください。
※P.21「再生モード」参照

⚠
駐車監視モードが作動しました。
録画ファイルを確認してください。

? このポップアップが表示されたときは緊急録画の記憶領域が上限に達しています。

再生モードにて録画ファイルを削除または設定メニューからSDカードをフォーマットしてください。
※P.21「再生モード」参照

⚠
緊急録画が上限に達しました。
データを削除してください

? アイコンをタッチするとこのポップアップが表示され録画ファイルのロックが解除されます。

⚠
ファイル保護解除

? アイコンをタッチするとこのポップアップが表示され録画ファイルがロックされます。

⚠
現在のファイルを保護します。

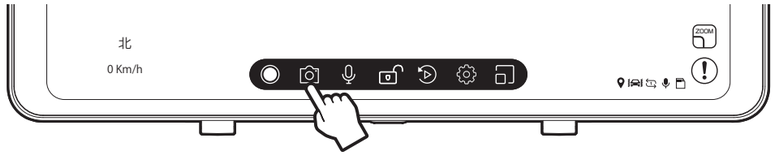
静止画像を撮影する

アイコンをタッチすると、映像の静止画像が撮影されます。

● 静止画像解像度は「1080Pのときは1920×1080」、「720Pのときは1280×720」で保存されます。 ※フロントカメラのみ設定可能

● 録画中に静止画を撮影しても録画は中断されません。

● 静止画の記録は、記憶容量を超えたときに古いファイルから上書きされます。
※32GBの場合、最大５００ファイルとなります。



■ 使いかた

設定メニュー画面

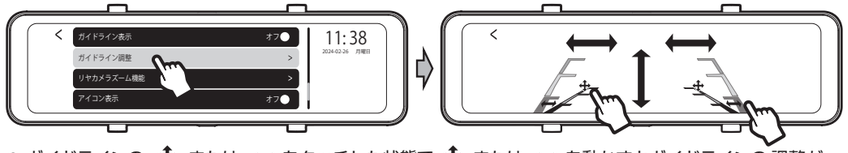
録画停止状態で ⚙ アイコンをタッチすると、設定メニュー画面が表示されます。

項目		1	2	3	4	機能
ファームウェアのバージョン		–	–	–	–	ファームウェアのバージョンを表示
SDカードの状態		–	–	–	–	SDカードの状態
SDカードをフォーマット		–	–	–	–	SDカードをフォーマット ※全てのデータが削除されます。
システムを初期化します		–	–	–	–	全ての設定を初期化
録画設定		1080P (▲)	720P	–	–	録画ファイルの記録解像度の設定 ※フロントカメラのみ設定できます。
常時録画時間		1分 (▲)	2分	3分	–	1ファイルごとの録画時間を設定
録音		オン↔オフ (▲)	–	–	–	音声の録音を設定
操作音		オン↔オフ (▲)	–	–	–	操作音を設定
音量		5(0~10) (▲)	–	–	–	操作音量／再生音量を設定
露出補正		0(−2~2) (▲)	–	–	–	フロントカメラの露光時間を延ばして夜景を明るく記録
情報記録設定		日付／時間 オン↔オフ (▲)	経度／緯度 オン↔オフ (▲)	速度 オン↔オフ (▲)	–	録画ファイルに記録する情報を設定 ※各項目毎に記録のオン／オフを設定できます。
駐車衝撃監視		オフ (▲)	高	中	低	駐車監視中の衝撃感度の設定
Gセンサー		オフ	高	中 (▲)	低	電源ON時のGセンサー(衝撃感知)の感度を設定
日付／時間		–	–	–	–	日時手動設定 ※GPSユニットを接続した時は時刻自動設定
時刻表示		オン↔オフ (▲)	–	–	–	時刻表示のオン／オフを設定
時計の表示形式		12時間	24時間 (▲)	–	–	時計の表示形式12時間／24時間表示設定
言語		中国語	英語	繁體中文	日本語 (▲)	表示言語の設定
ミラーモード切替		オフ (▲)	1分	2分	3分	液晶画面の表示時間を設定 ※オフにすると常時カメラの画像表示
GPS未接続の場合は非表示	GPS情報	–	–	–	–	GPSの衛生受信状況を表示
	GPS表示	オン↔オフ (▲)	–	–	–	速度、方角表示のオン／オフを設定
	速度警告	オフ (▲)	30~130km/h(10km/hステップ)			設定速度を超えると警告音が鳴ります。
緊急録画上書き		オン↔オフ (▲)	–	–	–	緊急録画(Gセンサ、駐車衝撃監視)がFULLになった場合、古い映像から上書き ※静止画像除く
ガイドライン表示		オン↔オフ (▲)	–	–	–	ガイドライン表示設定
ガイドライン調整		–	–	–	–	ガイドラインのライン設定
リヤカメラズーム機能		×10(×1~×20) (▲)	–	–	–	液晶画面上でのリヤカメラ映像の拡大／縮小設定 ※初期設定は×10
リアカメラ鏡像		オン↔オフ (▲)	–	–	–	リアカメラ映像を鏡像(ON)/正像(OFF)に変更できます。
リアカメラ画像 画像上下反転		オン↔オフ (▲)	オン	–	–	リアカメラ映像を上下反転(ON)/無反転(OFF)に変更できます。
アイコン表示		オン↔オフ (▲)	–	–	–	アイコン表示のオン／オフ設定

※ (▲)は工場設定値です。　※ 機能向上のためバージョンアップを行うことにより、メニュー画面が追加／変更になる場合があります。
※ 約30秒間操作していないときは自動的に常時録画画面に切り替わります。

ガイドラインの調整

録画停止状態で ⚙ アイコンをタッチすると、設定メニュー画面が表示されます。設定メニュー画面の“ガイドライン調整”をタッチするとガイドラインの調整画面が表示されます。

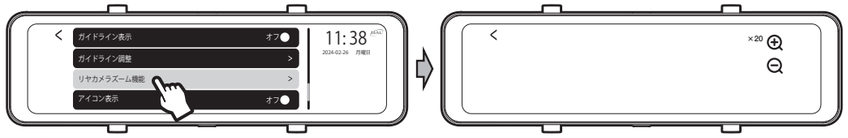


- ガイドラインの ✥ または、⟷ をタッチした状態で ✥ または、⟷ を動かすとガイドラインの 調整ができます。ガイドラインの調整を終了するときは ＜ をタッチすると設定メニュー画面に戻ります。

※未操作の状態で約 30 秒経過すると通常録画画面に戻り録画を開始します。

リヤカメラズーム機能

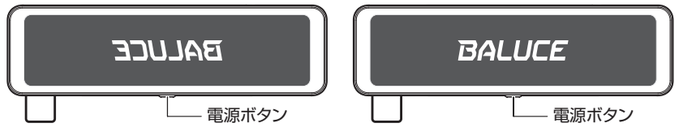
録画停止状態で ⚙ アイコンをタッチすると、設定メニュー画面が表示されます。設定メニュー画面の“リヤカメラズーム機能”をタッチするとリヤカメラの拡大/縮小調整画面が表示されます。



- ⊕ をタッチする ×1 から ×20 まで拡大されます。
  ⊖ をタッチすると ×1 まで縮小されます。
  ※ 初期設定は×10　※ズーム機能は、システム初期化しても初期設定に戻りません。
- ズーム機能を終了するときは ＜ をタッチすると設定メニュー画面に戻ります。また、未操作の状態で約 30 秒経過すると通常録画画面に戻り録画を開始します。リヤカメラズーム機能の設定終了後、通常録画画面に戻ると拡大画面になっています。必要に応じて縮小するときは ⊡ をタッチしてください。

リヤカメラ鏡像

設定メニュー画面の”リヤカメラ鏡像”をタッチすると、リヤカメラ映像をデフォルト設定の鏡像から正像に変更できます。



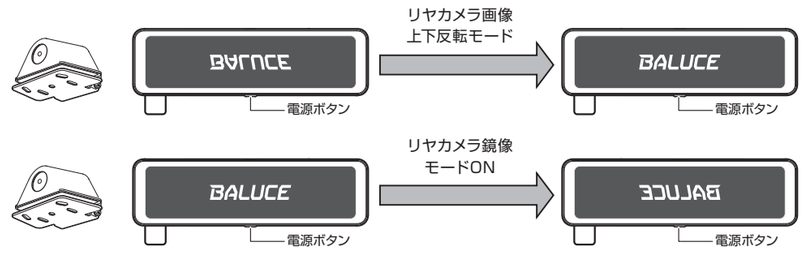
※通常リヤカメラ鏡像映像　※リヤカメラ正像映像

リヤカメラ画像上下反転

設定メニュー画面の”リヤカメラ画像上下反転”をタッチすると、リヤカメラ映像をデフォルト設定から上下反転に変更できます。これによりリヤカメラの向きを上下反転して取り付けても映像を表示することができます。

リヤカメラの向きを上下反転して取り付ける場合はリヤカメラ鏡像モードもあわせて変更してください。

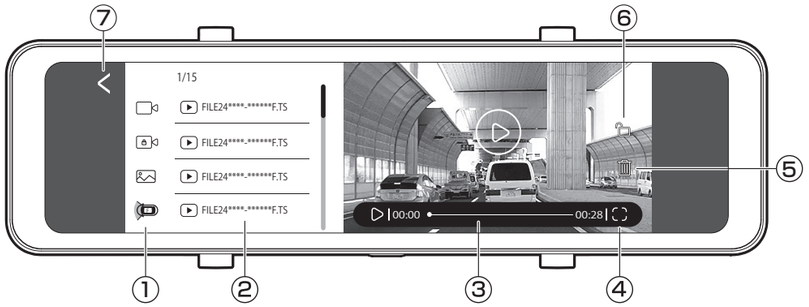
※運転中の誤認識を防止するために、リヤカメラ映像は鏡に映した像と反対に映した像の確認、および上下反転の設定は、十分に確認して切り替えを行ってください。
※上下反転した場合、映像の上下方向の調整が逆になります。



■ 使いかた

再生モード

録画停止状態で アイコンをタッチすると再生モードが表示されます。



① **常時録画**
このアイコンをタッチすると常時録画のファイルを表示します。

緊急録画
このアイコンをタッチすると緊急録画のファイルを表示します。

静止画
このアイコンをタッチするとフロントカメラのファイルを表示します。

録画画像前後切り替え
このアイコンをタッチするごとにフロントカメラとリヤカメラのファイルが切り替わり表示されます。

F	FILE******ー******F.TS	フロントカメラ表示
R	FILE******ー******R.TS	リヤカメラ表示

② **ファイル名**
記録されたファイルを表示します。上下にスライドすると記録された全てのファイルが確認できます。
（P.22 “ファイル名について”参照）

③ **サムネイル画面**
記録された映像を表示します。サムネイル画面をタッチするとアイコンのオン/ オフができます。

④ **サムネイル画面拡大**
このアイコンをタッチすると
サムネイル画面の拡大表示します。

⑤ **削除**
このアイコンをタッチすると選択したファイルを削除することができます。

⑥ **ロック/ 解除**
このアイコンをタッチすると選択したファイルのロック/ 解除ができます。

⑦ **戻る**
設定メニュー画面に戻ります。

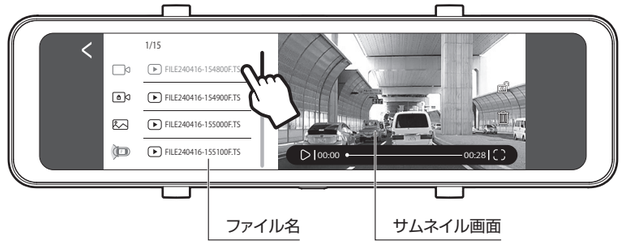
映像の再生

サムネイル画面をタッチすると、液晶モニターに記録された映像が再生されます。

※本体での連続再生はできません。
※連続再生はパソコンのみ可能です。詳しくは P.28 “PC ビューアについて” を参照してください。

［ファイルの表示］

ファイル名をタッチすると、サムネイル画面に記録された映像が表示されます。
選択している箇所の色が変わります。

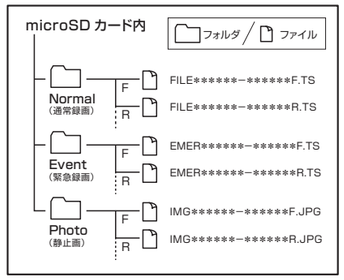


ファイル名について

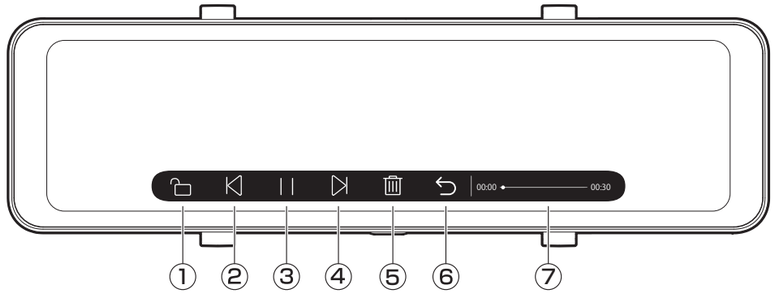
（P.21 ②参照）

FILE240416−154800F.TS

（年）（月）（日）記録日付
（時）（分）（秒）記録時間
F: フロントカメラで撮影したファイル
R: リヤカメラで撮影したファイル
FILE: 通常録画 ／ EMER: 緊急録画 ／ IMG: 静止画



［サムネイル画面拡大］



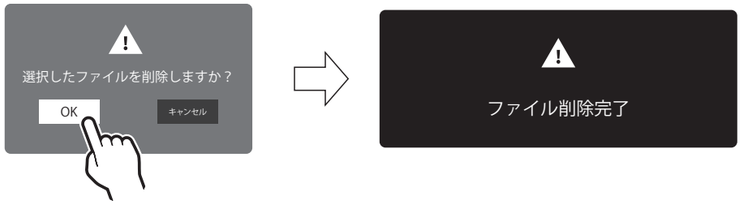
	アイコン	機　能
①		選択したファイルを解除／保護します。
②		前のファイルに移動します。
③		一時停止/再生
④		次のファイルに移動します。
⑤		選択したファイルを削除します。
⑥		拡大画面からサムネイル画面に戻ります。
⑦	00:00 ●——— 00:30	録画の進行状態を表示します。 ● をタッチしながらスライドさせると、早送り/巻き戻しが出来ます。

※本体で再生したときに映像の上下が圧縮されて再生されますが、パソコンで再生すると正常なサイズになります。

■ 使いかた

ファイルの削除

🗑 アイコンをタッチすると確認のポップアップが表示され、 OK を選択すると記録されたファイルが削除されます。

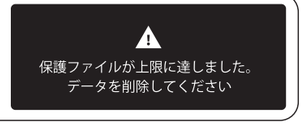


? このポップアップが表示されたときは、録画ファイルがロックされています。🔒 アイコンをタッチしてロックを解除してください。

? ファイルがロックされ削除ができないときは 🔒 アイコンをタッチするとこのポップアップが表示され、録画ファイルのロックが解除されます。

? 🔒 アイコンをタッチするとこのポップアップが表示され、録画ファイルがロックされます。

? 常時録画ファイルをロックし、ロックの上限に達すると、このポップアップが表示されます。更にロックする場合はロックしたファイルのロックを解除または削除してください。



■ ファームウェアについて

ファームウェアをアップデートする

仕様変更、機能追加などにより、本体のファームウェアが更新されることがあります。弊社ホームページ上にて最新のバージョンが公開されているときは、パソコンなどからアップデートしてください。最新の状態でご使用いただくために、定期的にホームページをご確認いただくことを推奨します。

※当社へファームウェアのアップデートをご依頼する場合は有償となりますので予めご了承ください。

最新のバージョンは弊社ホームページの製品ページでご確認いただけます。

URL https://www.bal-ohashi.com

製品ページ

[パソコンでアップデートする]

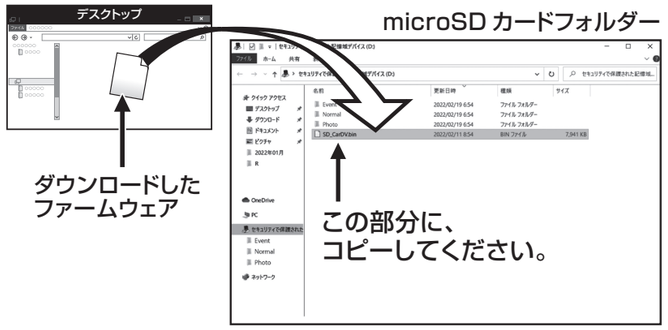
1.ホームページから最新のファームウェアをダウンロードしてください。
※ホームページ『■必ずお読みください』の項目をよく読んでください。

⚠注意 ・ファームウェアのアップデート作業を行う際は、必ず本製品からGPSユニットの配線を抜いてから電源をOFFにして行ってください。

SD_CarDV.bin

2.本製品からmicroSDカードを取り出し、パソコンに挿入するかカードリーダーなどを使ってmicroSDカードとパソコンを接続してください。

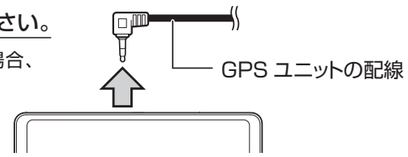
3.**接続したmicroSDカードのフォルダーにダウンロードしたファームウェアを移動(コピー)してください。**
※ファームウェアのファイル名称は変更しないでください。
※書き込み中は絶対にmicroSDカードは取り外さないでください。



※イメージ

4.ファイルの移動が完了したら、microSDカードをパソコンから取り出し、本製品に挿入してください。

5.**GPSユニットの配線を必ず抜いてください。**
※GPSユニットを抜かずにアップデートした場合、正常に処理されません。



6.本製品の電源がONになると、自動的にファームウェアがアップデートされます。アップデート後は電源がOFFになります。本製品の電源スイッチでONにし、microSDカードを必ずフォーマットしてください。
※ファームウェアが正常にアップデートされると、microSDカード内のファームウェアは自動的に削除されます。
※アップデート後は本製品の設定がリセットされますので、改めて設定をしてください。

7.GPSユニットの配線を差し込んでください。

■ 故障と処置

現　象	原　因	処　置
電源が入らない	アクセサリープラグが接触不良を起こしていませんか?	アクセサリーソケット内に付着したゴミや接触不良の原因となっているものを取り除き、再接続し直してください。
	製品の動作温度範囲を超えている可能性があります。	本製品の動作温度範囲内で使用してください。(P.29参照)
	アクセサリーソケットに給電されていますか?	車両のヒューズまたはアクセサリープラグ内のヒューズを確認してください。(P.10参照)
	増設ソケットや延長ソケットを使用していませんか?	増設ソケットや延長ソケットを使用している場合、接触不良が発生する可能性があります。
電源が切れる/再起動することがある	外気温が低下していませんか?	外気温が低い場合、車両バッテリー及び本体内のバッテリー電圧の影響により、エンジン始動時に電源が切れることがあります。ACCで本製品起動後エンジンスタートさせてください。
	増設ソケットや延長ソケットを使用していませんか?	増設ソケットや延長ソケットを使用している場合、走行中の振動などにより接触不良となり電源が切れることがあります。
	アイドリングストップ車の場合、車両バッテリーの状態によりエンジン始動時に再起動することがあります。	車両のバッテリー電圧を確認してください。
	長期間車両のエンジンを始動していない、または短時間しかエンジン始動をしていない。	長期間エンジン始動しなかったときなど、エンジン始動後すぐに電源がオフになることがあります。この場合は本体の電源スイッチを押して電源をオンにしてください。
誤動作をする	**本製品のシステムが誤作動を起こしている可能性があります。**	**本体接続ケーブルを挿抜きしてください。また、ファームウェアの再書き込みをしてください。**
録画できない	microSDカードが本体に挿入されていますか?	microSDカードが本体に挿入されていることを確認してください。
	microSDカードの読み取りエラーが発生していませんか?	microSDカードを本製品でフォーマットしてください。フォーマットしても改善されないときは別のmicroSDカードで試してください。またはmicroSDカードの抜き差しをしてください。(P.7参照)
	microSDカードの寿命ではないですか?	microSDカードには寿命があります。1日2時間程度の使用で2～3年を目安に新しいものと交換してください。
	microSDカードの保存可能領域は残っていますか?	microSDカードが消耗･破損している可能性があります。別のmicroSDカードで試してください。
録画したファイルがない	常時録画ファイルはmicroSDカードの保存領域が上限に達した場合、古いファイルから上書きされます。	録画したファイルを残しておきたい場合は、定期的にPCなどにバックアップすることをお勧めします。

■ 故障と処置

現　象	原　因	処　置
ファイルの読み込みが遅い	microSDカードのスペックを確認してください。	弊社取扱以外のmicroSDカードはお勧めしません。microSDカードはClass 10以上をご使用ください。
緊急録画が頻繁におこなわれる	Gセンサーの感度設定が適切ではない可能性があります。	設定メニュー画面の「Gセンサー」で設定を変更してください。(P.19参照)
液晶画面にドット抜けがある		液晶画面の特性です。不良ではありません。
液晶画面がちらつく	電源の供給が不安定になってる可能性があります。	付属の電源接続コードを使用してください。増設ソケットや延長ソケットを使用している場合、直接アクセサリーソケットに差し込んで使用してください。
	各ケーブル類の接続が正しく接続されていますか?	各ポートやコネクターの接続を正しく接続し直してください。
	FWにエラーが発生した可能性があります。	**再度ファームウェアの再書き込みをしてください。(P.24参照)**
リヤカメラに映っている後続車のライトが点滅している	後続車のライト類がLEDの可能性があります。	一部メーカー車において、LEDヘッドライトの点灯制御がパルス方式となっており、信号機と同様、点滅して見えることがあります。
リヤカメラの映像が表示されない	コネクター類の接続が正しく接続されていますか?	リヤカメラ付近のコネクター及び本体の接続ポートの接続を確認してください。(P.11参照) また、配線に負荷がかかっていないか確認してください。
	リヤカメラおよびリヤカメラ接続コードが断線していませんか?	バックドアなどの可動部分や内装類などでコードを挟み込み、断線していないか確認してください。
GPS信号を受信しない	GPS信号が受信しにくい場所を走行していませんか?	トンネル内や高層ビル街などはGPS電波を受信していないことがあります。
		製品本体からの時速や方角などの表示は受信したGPS衛星数とGPS信号からの演算により測位精度が異なるため、測位状況によっては実際と異なる場合があります。
	本製品始動直後ではないですか?	本製品を初めて使用するときは、GPS測位が完了するまでに時間がかかることがあります。
	GPSユニット付近が金属または金属コーティングされたもので覆われていませんか?	電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)やフロントガラスをメタリックフィルムなどで着色しているときは、GPS信号を受信できないことがあります。

■ 故障と処置

現　象	原　因	処　置
他の車載機器に影響が出る	コード類がアンテナやレーダー付近に設置されていませんか?	弱電地域の場合は若干の影響を受けることがあります。配線の設置場所を変更するなどすると解消されることがあります。
日時がズレている	GPS信号が受信できない環境に長期間保管したときは、時刻にズレが生じることがあります。	GPS信号を受信しやすい環境下で再度確認してください。(P.13参照)
言語が英語表記になり時刻がズレる 始動のたびに設定がリセットされる		**本体接続ケーブルを挿抜してください。 また、ファームウェアの再書き込みをしてください。**

[主なエラーメッセージ]

現　象	原　因	処　置
『カードエラーにより録画できません。』と表示される。	microSDカードの記録領域が破損している可能性があります。	microSDカードは繰り返しデータを書き換えることにより消耗する特性を持っており、寿命があります。新しいmicroSDカードと交換することをお勧めします。
データがいっぱいです。『SDカードをフォーマットしてください。』と表示される。	他機種にて使用していたSDカードを挿入していませんか?	付属のmicroSDカードを使用してください。(P.5参照)
『カードをフォーマットしてください。』と表示される。	緊急録画やファイルロックしたファイルが上限に達していませんか?	microSDカードをフォーマットしてください。(P.7参照)
『シガーソケット電源モードに切り替えます。』と表示される。	増設ソケットや分岐ソケットを使用していませんか?	走行中の振動などにより接触不良が発生している可能性があります。車両のアクセサリーソケットを単独で使用してください。

■ 交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度について

下記の申込用サイトに登録してください。

https://www.jdrc.or.jp/kaikae/

今すぐ事前Web登録を!

本制度のご利用にはWeb(ホームページ)からの事前登録が必要です。

商品パッケージにあるマーク、または右のQRコードから申込用サイトにアクセスすることができます。事前登録されないと補償金をお支払できませんので、購入後1ヵ月以内のご登録をお願い致します。

交通事故時ドライブレコーダー買替補償金制度とは

ドライブレコーダーのご購入者及び使用者が、ドライブレコーダーを設置した車両でレッカー搬送を伴う交通事故にあわれた場合、ドライブレコーダーの再購入費用及びその諸経費を補てんする目的で、ドライブレコーダー協議会から一律4万円の補償金が支払われる制度です。

費用負担	**無し** (費用はメーカーが負担します)
買替補償金	**4万円**(一律)

JDRC ドライブレコーダー協議会 補償金制度担当
お問い合わせ e-mail : info@jdrc.or.jp

■ PCビューアについて

本製品で使用する専用ビューアソフトは、付属のmicroSDカード内に収録されていません。
お手数ですが、弊社ホームページの製品ページからダウンロードしてご利用ください。

最新のバージョンは弊社ホームページの製品ページでご確認いただけます。

URL https://www.bal-ohashi.com

製品ページ

■ 製品仕様

本体

品　　番	No.5710	
品　　名	前後録画ドライブレコーダーミラー　バルーチェ Ⅲ	
液　　晶	10.88V型HD IPSディスプレイ(液晶解像度:1920×480)	
記録媒体	microSDカード(8～128GB) Class10推奨	
カ メ ラ	イメージセンサー	200万画素 CMOSセンサー HDR
	視野角(レンズ画角)	対角:136°／水平:115°／垂直:61°
	F値	F1.55
最大記録画角	対角:136°／水平:115°／垂直:61°	
記録解像度	動画	1080P:1920×1080／720P:1280×720
	静止画	1080P:1920×1080／720P:1280×720
	有効画素数	200万画素
フレームレート	27.5fps	
記録方式	常時録画	
	緊急録画(Gセンサー／手動)	
	駐車監視モード	衝撃監視録画
常時録画時間	1分／2分／3分	
Gセンサー	オフ／高／中／低	
ファイル形式	動画	TS
	静止画	JPEG
音声録音	有　※オン／オフ可能	
映像外部入力	専用リヤカメラ入力(専用miniUSB)	
使用電圧	DC12V／24V	
本体サイズ	約258(W)×20(D)×72(H)mm ※取付固定具およびカメラ部を除く	
質　　量	約369g	
動作温度範囲	−10℃ ～ 60℃	
内蔵バッテリー	スーパーキャパシタ、ボタン充電池(時計用)	
消費電力	最大7W	

リヤカメラ　防水、防塵設計(IEC規格IP67適合)

カ メ ラ	イメージセンサー	200万画素 CMOSセンサー HDR
	視野角(レンズ画角)	対角:140° ／ 水平:112° ／ 垂直:60°
最大記録画角	対角: 140° ／ 水平: 112° ／ 垂直: 60°	
記録解像度	動画	1080P:1920×1080
	静止画	1080P:1920×1080
	有効画素数	200万画素
フレームレート	25fps	
ファイル形式	動画	TS
	静止画	JPEG
使用電圧	DC5V	
消費電力	1.1W	
コード長	約7m	
本体サイズ	約56(W)×28(D)×26.5(H)mm	
質　　量	約70g ※ブラケット含まず	
動作温度範囲	−10℃～60℃	

microSDカード

microSDHC	32GB　Class10

※改良のため、予告なく仕様および外観を変更することがあります。
※この取扱説明書で使用されている画像・イラストはイメージです。
実際の製品や画像とは異なることがあります。

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。　VCCI－B

■ 保証について

●修理はお買い求めいただいた販売店･取付店または弊社に本保証書および修理依頼票を添えてご依頼ください。
また、修理依頼の際は必ず本体(microSDカード)･カメラ･コード類をセットでご依頼ください。
※各部品単体では修理できないことがあります。

●消耗品(microSDカード･両面テープ･固定バンド)は保証対象外です。

●次に示す費用については負担致しません。
1.本製品以外の損害(車両の修理費用･脱着工賃など)
2.本製品が使用できなかったことによる、不便さおよび損失(電話代･けん引代･レンタカー代･休業補償など)

■ 個人情報の利用目的について

本製品に関するお問い合わせや修理を依頼される場合の個人情報は、次の目的のみ利用されます。

1.当社製品、サービスに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため
2.製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため

キリトリ線

修理受付票　No.5710

修理のご依頼をされる時は、修理受付票と保証書(裏面)をご記入の上、
修理依頼品に添付していただきお送りください。

お客様ご記入欄

お客様名	様	ご住所　〒　　－
電話番号	ご自宅　　－　　－	
	日中連絡先　　－　　－	

microSDカードのデータ等の消失に関する同意確認

・お預かりした製品に付属のmicroSDカードのデータは、弊社でバックアップを行いません。
修理の内容によってmicroSDカードを初期化することがあります。いかなる場合でもデータの補償はいたしませんのでご了承ください。

※本項の署名がない場合、修理せずにご返却させていただきます。

本項の内容について同意します。　ご署名

症状　□ 常に発生する　□ 時々発生する　□ 特定の条件の時に発生する
詳しくご記入ください。

お見積もり連絡　□ 不要
□ 必要(　　)円以上の場合に連絡

※必要を選択された場合でも金額が発生しないときは連絡せず修理させていただきます。

修理発送先　※上記住所以外への発送の場合にご記入ください。

お客様名	様	ご住所　〒　　－
電話番号	ご自宅　　－　　－	